

J  
Japan  
Cardiovascular  
Research  
Foundation  
CRF  
2017  
11  
vol.6

# 財団季報



JCRF

公益財団法人  
循環器病研究振興財団  
Japan Cardiovascular Research Foundation

## 医療と人工知能

公益財団法人 循環器病研究振興財団  
理事長 北村 惣一郎



最近の人工知能(Artificial Intelligence: AI)の進歩には目覚ましいものがあり、AI 第3次ブームとも云われている。AI が人の能力を完全に越える(シンギュラリティー)時期は 2050 年までに必ず訪れるとされ、これは医療の部門でも例外ではなく、大きな変革がもたらされるであろう。ワトソン AI (IBM 社) は勉強家であり、大量の医学知識・情報を記憶し、正確な診断や適切な治療の選択をすることが可能である。最近、東京大学医科学研究所から稀な血液がんの診断と治療に、この AI を用いて成功したと報告があった。診断学や治療法の選択における AI の能力は並の医者の感度(sensitivity)や特異度(specificity)よりも高いことも分かって来た。並の医者にとってはピンチである。

もう一つの AI はディープラーニング(深層学習)(Google 社)である。これは画像の類似性を見分けるもので、このシステムはチェスでも碁でも将棋でもプロ選手に引けをとらぬことを示した。人や動物の顔認識や種類も見分けることができ、医療面では CT、MRI 等の画像診断やがん細胞の病理検査等で強力な助っ人になることに間違いは無さそうである。医用画像とリンクさせれば、高速で処理し、放射線医や病理医の診断の助けになるだけでなく、ヒューマンエラーによる見落としも減少させる可能性が充分にある。AI が大きく活躍できる医療部門では医師数の削減、場合によっては医師失職の機会増加を生じるかも知れない。

最近になって国内でも新設医科大学が増え、年間の医師生産数は 9000 人になるが、これに人口減少と AI の医療参加が加われば、医師過剰になる日は必ず来る気がしてならない。

一方、近未来に AI が社会に進出した場合、知的労働に対する法的な基盤整備は遅れており、誰が当該医療の最終責任者になるのか、など出来れば世界共通の整備を急ぐ必要がある。

AIの方が人間の医者よりも嘘をつかないし、信頼できる上に休暇も取らず 24 時間働いてくれるという世になってしまわぬよう、人間にも頑張ってもらわねばと思う。

表紙：動脈・静脈・リンパ管の3つの脈管を表す3本の線が、中心に1本、右に1本、後ろに1本、三本の線で配置され、柔軟で健康的な流れと、躍動的に活動する体を表現しました。  
楕円を斜めに配置することで、爽やかな勢いを表しています。

## 平成 29 年度事業計画書

### 【1】助成事業

(101,208 千円)

#### 1. 公募研究助成

(11,000 千円)

	助 成 名	研 究 テ ー マ	助 成 金 額
1	バイエル循環器病研究助成	血栓症予防・治療における新しいアプローチ ※デバイス (TAVI/TAVR および LVAD 後の血栓症予防等を含む)、薬物療法、その他新たな治療法を含む。	@5,000 千円×1 課題=5,000 千円 @2,500 千円×2 課題=5,000 千円
2	循環器疾患看護研究助成	循環器疾患看護	@200 千円×5 課題=1,000 千円

#### 2. 指定研究助成

(86,208 千円)

(個別研究)

	研 究 課 題	研究代表者	所属機関・職名	助成金額
1	血管病変の早期診断治療における画像処理情報技術の向上に関する研究	飯田秀博	国立循環器病研究センター研究所 画像診断医学部 部長	(継続) 1,000 千円 H32 終了予定
2	メタボリックシンドロームの動脈硬化症の発症・進展に及ぼす影響に関する基礎的、臨床的研究	宮本恵宏	国立循環器病研究センター 予防健診部 部長	(継続) 16,000 千円 H30 終了予定
3	和食の脳保護・脳精神機能改善、及び、肥満・糖脂質代謝へ与える効果の検討	柳本広二	国立循環器病研究センター研究所 分子病態部疾患分子研究室 室長	(継続) 5,000 千円 H31 終了予定
4	心房細動を合併する僧帽弁弁膜症患者に対する低侵襲手術の臨床試験	小林順二郎	国立循環器病研究センター 副院長	(継続) 4,850 千円 H30 終了予定
5	弓部大動脈疾患に対する人工血管置換術とステントグラフト内挿術の比較	湊谷謙司	京都大学大学院医学研究科 心臓血管外科 教授	(新規) 1,800 千円 H33 終了予定
6	糖尿病・脂質異常症・肥満症など代謝性疾患における心血管腎イベントの発症進展因子の解明と予防法・診断法・治療法の開発	細田公則	国立循環器病研究センター 生活習慣病部門長・ 動脈硬化糖尿病内科部長	(新規) 460 千円 H33 終了予定

(多施設共同研究)

	研 究 課 題	研究代表者	所属機関・職名	助成金額
7	虚血性心疾患における心電図同期 SPECT (QGS) 検査に関する国内臨床データベース作成のための調査研究 (J-ACCESS)	西村恒彦	京都府立医科大学 特任 (名誉) 教授	(継続) 11,040 千円 H30 終了予定
8	本邦における低用量アスピリンによる上部消化管合併症に関する調査研究 (MAGIC 研究) 一筋梗塞、脳梗塞患者などの動脈血栓塞栓性疾患を対象として	池田康夫	早稲田大学理工学術院 先進理工学部生命医科学科 教授	(継続) 5,832 千円 H29 終了予定
9	急性脳血管症候群登録観察研究 (ACVS registry Study)	内山真一郎	山王病院・山王メディカルセンター 脳血管センター長	(継続) 27,396 千円 H29 終了予定
10	様々な心血管疾患における酸化ストレスの関与に関する基礎および包括的大規模臨床検討	小川久雄	一般財団法人熊本循環器学会 理事長	(継続) 2,350 千円 H31 終了予定
11	アログリプチンによる糖尿病大血管症の進展抑制効果の検討 Extension Study (SPEAD-A)	綿田裕孝	順天堂大学医学部 内科学代謝内分泌学講座 教授	(継続) 4,010 千円 H33 終了予定
12	シタグリプチンによる糖尿病大血管症の進展抑制効果の検討 Extension Study (SPIKE study)	綿田裕孝	順天堂大学医学部 内科学代謝内分泌学講座 教授	(継続) 3,710 千円 H34 終了予定
13	大動脈解離に対する弓部・下行大動脈のステントグラフト内挿術の中長期成績の検討	松田 均	国立循環器病研究センター 心臓血管外科・血管外科 部長	(継続) 2,760 千円 H30 終了予定

#### 3. 研究者・研修者助成

(4,000 千円)

	助 成 名	助 成 内 容	助成金額
1	国内外研修派遣助成	国内外において実施される効率的な研修に派遣される医療技術者に対する助成	2,000 千円
2	国際協同研究等派遣助成	海外で開催される学会・協同研究等に派遣される研究者に対する助成	2,000 千円



**【2】普及支援事業 (17,110千円)**

**1. 研究業績発表 (1,320千円)**

(1) 研究業績集の発行 (150千円)

前年度に実施した研究助成（指定研究助成・循環器疾患看護研究助成）の研究成果をまとめ、国立病院・大学・研究所等へ配布する。

(2) 研究発表会の開催 (1,170千円)

研究発表会を開催し、前年度に実施した研究助成の研究成果を発表する。

- ①「バイエル循環器病研究助成」研究発表会
- ②「循環器疾患看護研究助成」研究発表会

**2. 学術活動支援 (5,000千円)**

循環器病に関する小規模研究、セミナー等に対する支援

**3. 移植医療支援 (2,000千円)**

循環器疾患に関する移植医療の円滑な実施のための支援（アグネス基金）

**4. 予防啓発活動 (8,790千円)**

(1) 小冊子 (8,200千円)

『知っておきたい循環器病あれこれ』の刊行

循環器病予防啓発の小冊子を奇数月にそれぞれ1万部発行し、国立循環器病研究センター、健康保険組合、講演会などで一般市民に配布

（「知っておきたい循環器病あれこれ」発行予定表）

	タイトル（仮題）	執筆者		発行予定日
122	認知症と循環器病の深い関係	猪原匡史	国立循環器病研究センター 脳神経内科・部長	平成29年5月1日
123	あなたの大切な人を助ける救命法と病院搬送	田原良雄	国立循環器病研究センター 心臓血管内科・医長	平成29年7月1日
124	意外と多い家族性高脂血症の治療の進歩	斯波真理子	国立循環器病研究センター 病態代謝部	平成29年9月1日
125	組織移植と臓器移植-国循の移植医療	福嶋教偉	国立循環器病研究センター 移植医療部・部長	平成29年11月1日
126	健康食品・サプリメントの功罪	老田章	国立循環器病研究センター 薬剤部・部長	平成30年1月1日
127	慢性腎臓病（CKD）と循環器病の深い関係 （高血圧・透析・糖尿病）	吉原史樹	国立循環器病研究センター 高血圧・腎臓部・部長	平成30年3月1日

(2) 機関誌『季報』の発行 (150千円)

循環器病に関する情報の提供、財団の情報公開など

(3) ホームページサービス事業 (<http://www.jcvrf.jp/>) (300千円)

循環器病に関する情報の提供、財団の情報公開、助成事業の公募など

(4) 市民講座 (140 千円)

疾患ごとにテーマを決めて、一般市民を対象に循環器病予防に関する知識の普及および啓発のために講座を開催

(5) キャンペーン

阪神甲子園球場において財団PRと予防啓発

(6) 共催名義使用

①第20回脳卒中市民シンポジウムおよび平成29年度脳卒中週間ポスター事業

[主催] 公益社団法人日本脳卒中協会

②国循市民公開講座

[主催] 国立循環器病研究センター

【3】調査研究事業

(960,196 千円)

当財団の自主事業として行う研究。なお、研究者への助成を目的とするものではない。

(完成基準)

(807,346 千円)

	研究課題	研究代表者	所属機関・職名	事業費
1	安定型冠動脈疾患を合併する非弁膜症性心房細動患者におけるリバーロキサパン単剤療法に関する臨床研究 (AFIRE)	安田 聡	公益財団法人循環器病研究振興財団研究・技術開発助成選考委員/国立循環器病研究センター・副院長	(継続) 293,463 千円 H30 終了予定
2	実地医家を対象とした非弁膜症性心房細動患者の脳卒中および全身性塞栓症に対するリバーロキサパンの有効性と安全性に関する登録観察研究 (GENERAL)	草野研吾	公益財団法人循環器病研究振興財団研究・技術開発助成選考委員/国立循環器病研究センター・部長	(継続) 430,094 千円 H31 終了予定
3	日本における急性心筋梗塞患者の治療および予後の実態調査 (JAMIR)	安田 聡	国立循環器病研究センター副院長	(継続) 83,789 千円 H31 終了予定

(進行基準)

(152,850 千円)

	研究課題	研究代表者	所属機関・職名	事業費
4	アジア人における慢性心不全患者の心臓突然死発生率および危険因子に関する疫学的臨床研究 (ASIAN-HF)	清水 渉	日本医科大学 内科学 主任教授	(継続) 4,105 千円 H30 終了予定
5	脳梗塞再発高リスク患者を対象とした抗血小板薬併用療法の有効性及び安全性の検討 (CSPS.com)	山口武典	国立循環器病研究センター 名誉総長	(継続) 121,904 千円 H30 終了予定
6	非弁膜症性心房細動患者の急性脳梗塞/TIA におけるリバーロキサパンの投与開始時期に関する観察研究 (RELAXED)	峰松一夫	循環器病研究振興財団研究・技術開発助成選考委員会・選考委員/国立循環器病研究センター・病院長	(継続) 16,470 千円 H29 終了予定
7	定量 SPECT 機能画像計算パッケージの医療機器化と一般病院への提供支援	飯田秀博	国立循環器病研究センター研究所 画像診断医学部 部長	(継続) 10,370 千円 H29 終了予定

## 平成 28 年度事業報告書

平成 28 年度においては、助成事業、普及支援事業、国庫補助金事業、調査研究事業の 4 分野の事業を行った。

### 【1】助成事業 (149,776 千円)

#### 1. 公募研究助成 (11,600 千円)

(1) バイエル循環器病研究助成 (11,000 千円)

【研究テーマ】生活習慣病と血液凝固

[応募数：22 課題]

	研究課題	研究者	所属・職名	助成交付額
1	S100A9 をターゲットにした脳梗塞における抗血栓ペプチドワクチンの開発	島村宗尚	大阪大学大学院医学系研究科 健康発達医学講座 寄附講座准教授	2,500 千円
2	血液凝固因子による全身の代謝異常発症機構の解明	清水逸平	新潟大学大学院医歯学総合研究科 循環器内科学 特任准教授	2,500 千円
3	循環器疾患における後天性フォンビルブランド症候群の診断と治療法の開発	早川正樹	奈良県立医科大学 輸血部 助教	2,500 千円
4	新規接着因子、JCAD を介した生活習慣病と血栓性疾患の関連性の解明	原 哲也	神戸大学大学院医学研究科 特命助教	2,500 千円

【研究テーマ】震災と血液凝固（熊本地震震災特別枠）

[応募数：2 課題]

	研究課題	研究者	所属・職名	助成交付額
5	熊本地震血栓性疾患予防プロジェクト	末田大輔	熊本大学医学部附属病院 循環器内科 特任助教	1,000 千円

《研究発表会開催予定》 平成 29 年 10 月 1 日（第 65 回日本心臓病学会学術集会内）

(2) 循環器疾患看護研究助成 (600 千円)

[応募数：4 課題]

	研究課題	研究者	所属・職名	助成交付額
1	内科系心臓血管集中治療科（CCU）における睡眠バンドル導入の効果	尾崎 未佳	国立循環器病研究センター CCU 病棟 看護師	200 千円
2	脳血管疾患患者における術後せん妄状態発症の要因分析	神徳 千尋	国立循環器病研究センター 看護部 9 階東病棟 看護師	200 千円
3	末期心不全患者の症状緩和におけるオピオイド使用に影響する医療者側の関連要因	村田 千穂	東京女子医科大学 看護学研究科 実践看護学 I 博士前期課程	200 千円

《研究発表会開催予定》 平成 29 年 12 月（国立循環器病研究センター内）

#### 2. 指定研究助成 (138,176 千円)

(個別研究) (14,752 千円)

	研究課題	研究代表者	所属機関・職名	助成金額
1	血管病変の早期診断治療における画像処理情報技術の向上に関する研究	飯田秀博	国立循環器病研究センター研究所 画像診断医学部 部長	(継続) 277 千円 H32 終了予定
2	メタボリックシンドロームの動脈硬化症の発症・進展に及ぼす影響に関する基礎的、臨床的研究	宮本恵宏	国立循環器病研究センター 予防健診部 部長	(継続) 1,850 千円 H30 終了予定
3	和食の脳保護・脳精神機能改善、及び、肥満・糖脂質代謝へ与える効果の検討	柳本広二	国立循環器病研究センター研究所 分子病態部疾患分子研究室 室長	(継続) 6,200 千円 H31 終了予定
4	心房細動を合併する僧帽弁弁膜症患者に対する低侵襲手術の臨床試験	小林順二郎	国立循環器病研究センター 副院長	(継続) 2,000 千円 H30 終了予定



	研究課題	研究代表者	所属機関・職名	助成金額
5	大動脈手術に関する感染症の検討	湊谷謙司	国立循環器病研究センター 心臓血管外科部門血管外科 部長	(継続) 2,000千円 H28 終了
6	Endurant を用いた腹部大動脈瘤ステントグラフト内挿術における NBCA 瘤内塞栓術の有効性確立のための研究	福田哲也	国立循環器病研究センター 放射線部 部長	(新規) 760千円 H28 終了
7	家族性コレステロール血症患者における残余リスクとしての HDL 機能の意義	斯波真理子	国立循環器病研究センター研究所 病態代謝部 部長	(新規) 475千円 H28 終了
8	手指運動計測による早期認知症の診断に関する研究	宮下光太郎	国立循環器病研究センター 脳神経内科 医長	(新規) 500千円 H28 終了
9	心電図を用いた心房細動カテーテルアブレーション後の再発予測の検討	井上優子	国立循環器病研究センター 心臓血管内科部門不整脈科 医員	(新規) 500千円 H28 終了
10	近赤外線分光法による局所脳組織酸素飽和度の他機種測定と比較検討	吉谷健司	国立循環器病研究センター 手術室 医長	(新規) 190千円 H28 終了

(多施設共同研究)

(123,424千円)

	研究課題	研究代表者	所属機関・職名	助成金額
11	虚血性心疾患における心電図同期 SPECT (QGS) 検査に関する国内臨床データベース作成のための調査研究 (J-ACCESS)	西村恒彦	京都府立医科大学 特任(名誉)教授	(継続) 23,364千円 H30 終了予定
12	本邦における低用量アスピリンによる上部消化管合併症に関する調査研究 (MAGIC 研究) - 心筋梗塞、脳梗塞患者などの動脈血栓塞栓性疾患を対象として -	池田康夫	早稲田大学理工学術院 先進理工学部生命医科学科 教授	(継続) 4,243千円 H29 終了予定
13	急性脳血管症候群登録観察研究 (ACVS registry Study)	内山真一郎	山王病院・山王メディカルセンター 脳血管センター長	(継続) 24,896千円 H29 終了予定
14	急性期脳出血への降圧を検討する第Ⅲ相国際多施設共同無作為化臨床試験 (ATACH-Ⅱ)	豊田一則	国立循環器病研究センター 脳血管部門脳血管内科 部長	(継続) 60,401千円 H28 終了
15	様々な心血管疾患における酸化ストレスの関与に関する基礎および包括的大規模臨床検討	小川久雄	一般財団法人熊本循環器学会 理事長	(継続) 1,000千円 H31 終了予定
16	アログリプチンによる糖尿病大血管症の進展抑制効果の検討 Extension Study (SPEAD-A)	綿田裕孝	順天堂大学医学部 内科学代謝内分泌学講座 教授	(継続) 4,010千円 H33 終了予定
17	シタグリプチンによる糖尿病大血管症の進展抑制効果の検討 Extension Study (SPIKE study)	綿田裕孝	順天堂大学医学部 内科学代謝内分泌学講座 教授	(継続) 3,710千円 H34 終了予定
18	大動脈解離に対する弓部・下行大動脈のステントグラフト内挿術の中長期成績の検討	松田 均	国立循環器病研究センター 心臓血管外科部門血管外科 部長	(新規) 1,800千円 H30 終了予定

## 【2】普及支援事業

(11,626千円)

### 1. 研究成果発表

(1,116千円)

#### (1) 研究業績集の発行

(123千円)

前年度の指定研究助成および循環器疾患看護研究助成による研究成果をまとめて大学・研究所等へ配布

#### (2) 研究発表会の開催

(993千円)

研究発表会を開催し、前年度の公募研究助成(バイエル循環器病研究助成・循環器疾患看護研究助成・日本光電循環器病研究助成)の研究成果を発表

	内 容	内 容
1	バイエル循環器病研究助成研究発表会	・テーマ： 動脈疾患と抗凝固療法 ・会場： 第64回日本心臓病学会学術集会(東京) ・日時： 平成28年9月25日(日)14:30~16:00
2	循環器疾患看護研究助成研究発表会(第13回) 日本光電循環器病研究助成研究発表会(第5回)	・会場： 国立循環器病研究センター・図書館講堂 ・日時： 平成28年12月7日(水)15:30~18:30 ・特別講演：『新国立循環器病研究センターに期待すること』 【講師】北村惣一郎(国立循環器病研究センター・名誉総長)

2. 学術活動支援

(1,900千円)

循環器病に関する小規模研究、セミナー等に対する支援

(小規模研究)

	研究課題	研究代表者	所属・職名	助成交付額
1	高血圧治療におけるイルベサルタンを基軸とした降圧薬の併用療法に関する研究	岩嶋義雄	国立循環器病研究センター 高血圧・腎臓科 医長	950千円
2	D-SPECT 日本人正常マップ策定の為の多施設共同研究	木曾啓祐	国立循環器病研究センター 放射線部 医長	950千円

3. 移植医療支援等事業

(400千円)

循環器疾患に関する移植医療の円滑な実施のための支援（アグネス基金）

	内 容	助成交付額
1	第14回心臓移植患者連絡会 (CoCoRo会) ・会 長： 国立循環器病研究センター・理事長 小川久雄 ・会 期： 平成28年11月20日（日） ・会 場： 国立循環器病研究センター図書館講堂	400千円

4. 予防啓発活動

(8,210千円)

(1) 小冊子

(7,814千円)

『知っておきたい循環器病あれこれ』の刊行

循環器病予防啓発の小冊子を奇数月にそれぞれ1万部発行し、国立循環器病研究センター、健康保険組合、講演会などで一般市民に配布

	タイトル	執 筆 者	発 行 日	
116	大動脈瘤と解離 - 最新情報	清家愛幹 湊谷謙司	国立循環器病研究センター 医師/血管外科・部長	平成28年5月1日
117	もやもや病…ここまできた診断・治療	高橋 淳	国立循環器病研究センター 脳神経外科・部長	平成28年7月1日
118	美味しく減塩 “かるしお” のすすめ	高木洋子	国立宇多野病院・栄養管理室長 (元・国立循環器病研究センター 臨床栄養部)	平成28年9月1日
119	心臓病の子どもが大人になったら -成人先天性心疾患の注意点-	大内秀雄 白石 公	国立循環器病研究センター 小児循環器科医長/部長	平成28年11月1日
120	循環器病の治療薬…特徴と注意点	和田恭一	国立循環器病研究センター 薬剤部・特任副薬剤部長	平成29年1月1日
121	胸の痛み…生命に危険な場合	安田 聡	国立循環器病研究センター 副院長・心臓血管内科部門	平成29年3月1日

(2) 機関誌『季報』の発行

(131千円)

循環器病に関する情報の提供、財団の情報公開など

(3) ホームページの運営 (<http://www.jcvrf.jp>)

(203千円)

循環器病に関する情報の提供、財団の情報公開、助成事業の公募案内など

(4) 市民健康セミナー

(61千円)

疾患ごとにテーマを決めて、一般市民を対象に循環器病予防に関する知識の普及および啓発のために講座を開催

	名 称	日時・場所
1	ダイワの健康セミナー 「脳卒中は防げる、治せる！」	・日 時： 平成28年10月26日（水）14:00~15:00 ・会 期： 千里ライフサイエンスセンター（サイエンスホール） ・講 師： 国立循環器病研究センター名誉総長・山口武典



(5) キャンペーン

阪神甲子園球場のオーロラビジョン、ライナービジョンで財団のPRと予防啓発を行った。

(6) 共催・後援名義使用

(共催)

	名 称	主 催 者	日時・場所
1	第19回脳卒中市民シンポジウム 平成28年度脳卒中週間ポスター	公益社団法人日本脳卒中協会 理事長 山口武典	・平成28年5月28日(土) ・長野市若里市民文化ホール
2	平成29年度健康講演会 『生活習慣病予防のための正しい知識と運動療法』	国立循環器病研究センター 予防健診部 部長 宮本恵宏	・平成28年11月25日(金) ・吹田市文化会館(集会室)

(後援)

	催し物	主 催 者	日時・場所
3	第14回国循市民公開講座 「これからの国循 ～循環器病征圧に向けての取組～」	国立循環器病研究センター 理事長 小川久雄	・平成28年7月29日(金) ・阪急うめだホール
4	第13回国循市民公開講座 『生活習慣病・心臓病を予防し健康長寿をめざす』	国立循環器病研究センター 理事長 小川久雄	・平成28年11月26日(土) ・関西大学100周年記念会館

【3】国庫補助金事業(特別会計I)

(8,550千円)

(厚生労働科学研究推進事業費)

	区 分	事 業 内 容	事 業 費
1	若手研究者育成活用事業	リサーチレジデント1名	3,481千円
2	研究成果等普及啓発事業	・一般向け研究発表会(2件) ・研究者向け研究発表会1回(23課題)	4,686千円
3	補助金返還金	(研究費余剰のため)	383千円

【4】調査研究事業

(921,275千円)

(完成基準)

(546,506千円)

	研 究 課 題	研究代表者	所属機関・職名	事 業 費
1	安定型冠動脈疾患を合併する非弁膜症性心房細動患者におけるリパーロキサパン単剤療法に関する臨床研究(AFIRE)	安田 聡	公益財団法人循環器病研究振興財団研究・技術開発助成選考委員/国立循環器病研究センター・副院長	(継続) 176,865千円 H30終了予定
2	実地医家を対象とした非弁膜症性心房細動患者の脳卒中および全身性塞栓症に対するリパーロキサパンの有効性と安全性に関する登録観察研究(GENERAL)	草野研吾	公益財団法人循環器病研究振興財団研究・技術開発助成選考委員/国立循環器病研究センター・部長	(継続) 309,140千円 H31終了予定
3	日本における急性心筋梗塞患者の治療および予後の実態調査(JAMIR前向き研究)	安田 聡	国立循環器病研究センター 副院長	(継続) 60,501千円 H31終了予定

(進行基準)

(374,769千円)

	研 究 課 題	研究代表者	所属機関・職名	事 業 費
4	アジア人における慢性心不全患者の心臓突然死発生率および危険因子に関する疫学的臨床研究(ASIAN-HF)	清水 渉	日本医科大学 内科学 主任教授	(継続) 7,308千円 H30終了予定
5	脳梗塞再発高リスク患者を対象とした抗血小板薬併用療法の有効性及び安全性の検討(CSPS.com)	山口武典	国立循環器病研究センター 名誉総長	(継続) 241,911千円 H30終了予定
6	非弁膜症性心房細動患者の急性脳梗塞/TIAにおけるリパーロキサパンの投与開始時期に関する観察研究(RELAXED)	峰松一夫	循環器病研究振興財団研究・技術開発助成選考委員会・選考委員/国立循環器病研究センター・副院長	(継続) 114,652千円 H29終了予定
7	定量SPECT機能画像計算パッケージの一般病院への提供支援	飯田秀博	国立循環器病研究センター研究所 画像診断医学部 部長	(継続) 10,898千円 H30終了予定

## 当財団の主な事業の概要

### 1. 助成事業

循環器病に関する医学研究及び看護研究等に対して研究を助成するものです。研究助成事業には、下記の事業があり、研究終了後には、研究成果発表会の開催及び研究業績集の発行など、循環器病に関する基礎的・臨床的研究の発展に寄与するものです。

#### (1) 公募研究助成

- ① バイエル循環器病研究助成
- ② 循環器疾患看護研究助成
- ③ 日本光電循環器病研究助成
- ④ 公募自由課題研究助成

#### (2) 指定研究助成

- ① 個別研究
- ② 多施設共同研究

#### (3) 研究・研修者助成

- ① 国内外研修者助成
- ② 国際協同研究者助成



### 2. 普及支援事業

循環器病に関する研究の成果、循環器病に関する情報、循環器病の予防・治療など最新情報を広く一般に公開しており、下記の事業を行っています。

- ① 研究業績集発行及び研究成果発表会
- ② 学術活動支援
- ③ 移植医療支援
- ④ 予防啓発と普及
- ⑤ 機関誌の発行及びホームページサービス



### 3. 調査研究事業

循環器病に関する調査研究を当財団の自主事業として行うものです。



## 循環器病制圧キャンペーン 第30回循環器病チャリティーゴルフ

### ■ゴルフ大会

去る9月30日（土）、兵庫県西宮市のよみうりカントリークラブにおいて、恒例の「循環器病チャリティーゴルフ」が開催されました。この大会は、読売グループ4社（読売新聞社、読売テレビ、報知新聞社、読売ゴルフ）の主催並びに厚生労働省をはじめ近畿圏の自治体、医師会などの後援により行われています。

今回は、32社からご協賛頂き、154名が参加されました。



### ■講演会・表彰式・基金贈呈式

10月3日（火）、ホテルニューオータニ大阪において、記念講演会・表彰式・基金贈呈式が行われました。記念講演会では、「進化する不整脈診療：心房細動へのアプローチ」と題して、国立循環器病研究センター・心血管内科部長の草野研吾先生にご講演頂きました。（要旨は次ページ）

講演会後は会場を移し、ゴルフ大会の表彰式が行われ、個人賞及び団体賞などの表彰がありました。

最後に、伝川幹・循環器病チャリティーゴルフ運営委員会委員長（読売テレビ代表取締役社長）より北村惣一郎理事長にチャリティー基金の贈呈があり、今年は1,037万円をご寄付頂きました。続いて、川島康生顧問から伝川幹・読売テレビ代表取締役社長に厚生労働大臣からの感謝状を授与させて頂きました。

この大会は今年で30回目を迎え、これまでに総額でおよそ3億2千万円ものご寄付を頂いていますが、この基金は、主に、「知っておきたい循環器病あれこれ」の発行に活用させて頂いています。



【第30回循環器病チャリティーゴルフ記念講演会】（要旨）

『 進化する不整脈診療：  
心房細動へのアプローチ 』

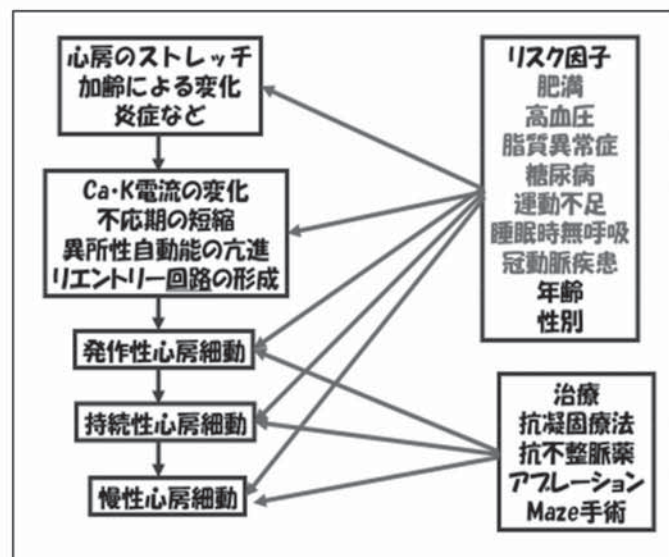
国立研究開発法人 国立循環器病研究センター  
心臓血管内科 部長 草野 研吾



人口の高齢化に伴い、心房細動患者は増加しています。罹患者は150-200万人とも言われ、社会問題となっていると言っても過言ではありません。心房細動自体は致命的な不整脈ではありませんが心原性脳塞栓、認知症、心不全など様々な疾患の引き金になることが知られており、その診療に注目が集まっています。そのためには①心房細動にならないようにする、②心房細動を早くみつける、③心房細動を起こらないようにする、④血栓塞栓症を起こらないようにするの4つが重要です。近年、さまざまな診断機器、治療機器が登場し、これらに対する様々なアプローチが行われており、本日は、私たちの研究も併せて、その一部を簡単にご紹介します。

① 心房細動にならないようにする

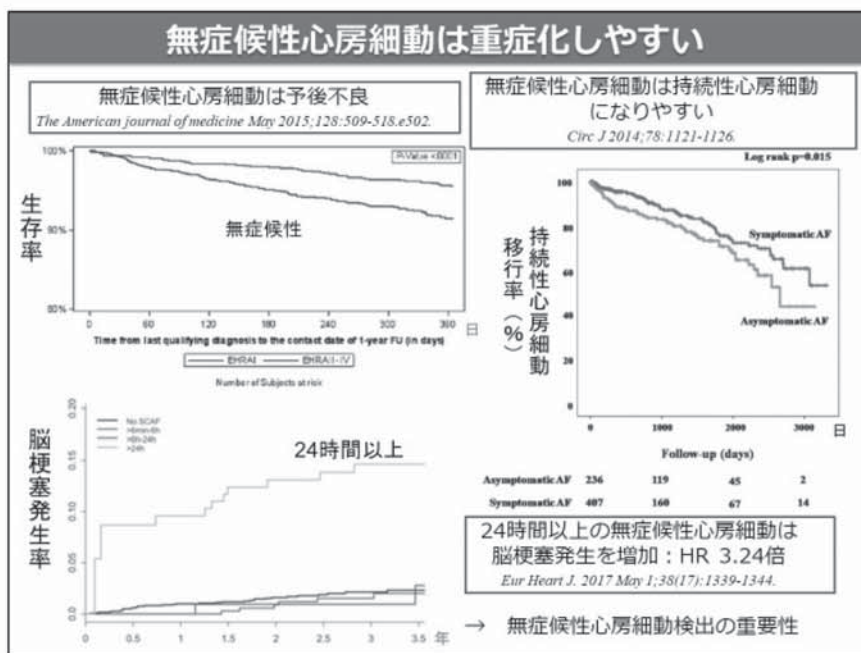
年齢、性別、肥満、高血圧、脂質異常、糖尿病、運動不足、睡眠時無呼吸、冠動脈疾患が心房細動の危険因子として知られています。またセンターが行っている吹田研究では心雑音、タバコ、アルコールも関連があることを報告しており、10年後の罹患者率が推定できることを報告しました。これらの因子はすべて同時に動脈硬化に強く関連するものです。健診や生活習慣の改善が、心房細動にならないようにするには、とても重要であることが改めてわかります。





## ② 心房細動を早くみつける

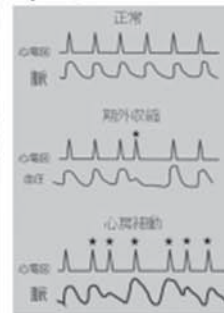
心房細動は無症状であることが多く、また無症状ほど生命の危険が大きいことが報告されています。従って検脈（脈とり）による早期発見を勧めています。不規則な脈の場合はすぐに心電図を記録して不整脈の診断をすることが重要ですので、日頃から脈をとる習慣をつけましょう。私たちは現在脈波を利用した時計型機器の開発に努めていますが、海外ではパッチ型の長時間記録心電計が使用されています。しかし長期間にわたるモニターは難しいのが問題として挙がっています。最近では、原因不明の脳塞栓患者に限り、3年間連続使用できる植込み型の小さな心電機器が登場し長時間でかつ遠隔診断も可能となっています。



## 心房細動をみつける

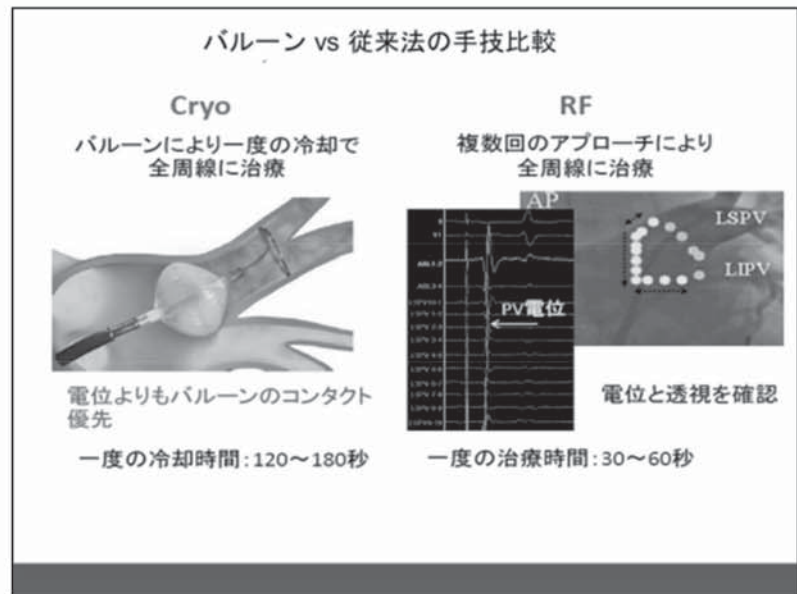
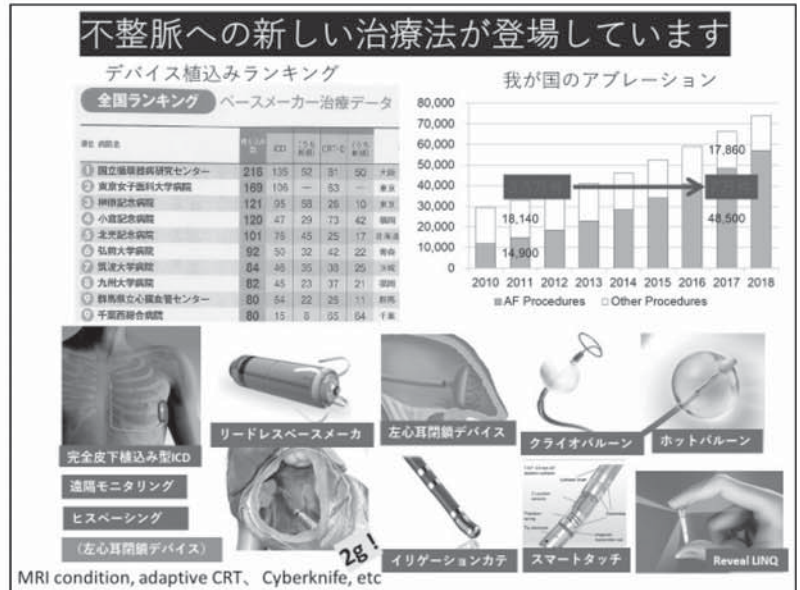
脈とりは3本で！

ホルター心電図



### ③ 心房細動を起こらないようにする

従来の抗不整脈薬では、5年で半数が再発するため、薬物を使わないカテーテルアブレーションが一般的になってきました。現在、約7万件行われているカテーテルアブレーションの8割を心房細動アブレーションが占め、さまざまな医療機関で行われています。最近では、発作性心房細動では風船を使った様々な新しいアブレーション法（冷却・温水・レーザー）が登場し、良好な成績であることが報告されています。将来は体外からのアブレーションが可能となるかもしれません。しかし、進行した心房細動ではその効果は減少するので、早期に治療を開始することが勧められています。すでにペースメーカーなどのデバイスが植込まれた患者さんでは、心房細動を停止させる機能をもったものも登場しています。



### ④ 血栓塞栓症を起こらないようにする

ワルファリンだけであった時代から、様々な新規抗凝固薬（DOAC）が登場し、その高い安全性と有効性から急速に現場に広がっています。海外では、血栓ができやすい左心耳を閉鎖する新しい機器が使用されており、近い将来日本でも使用が可能となる見込みです。



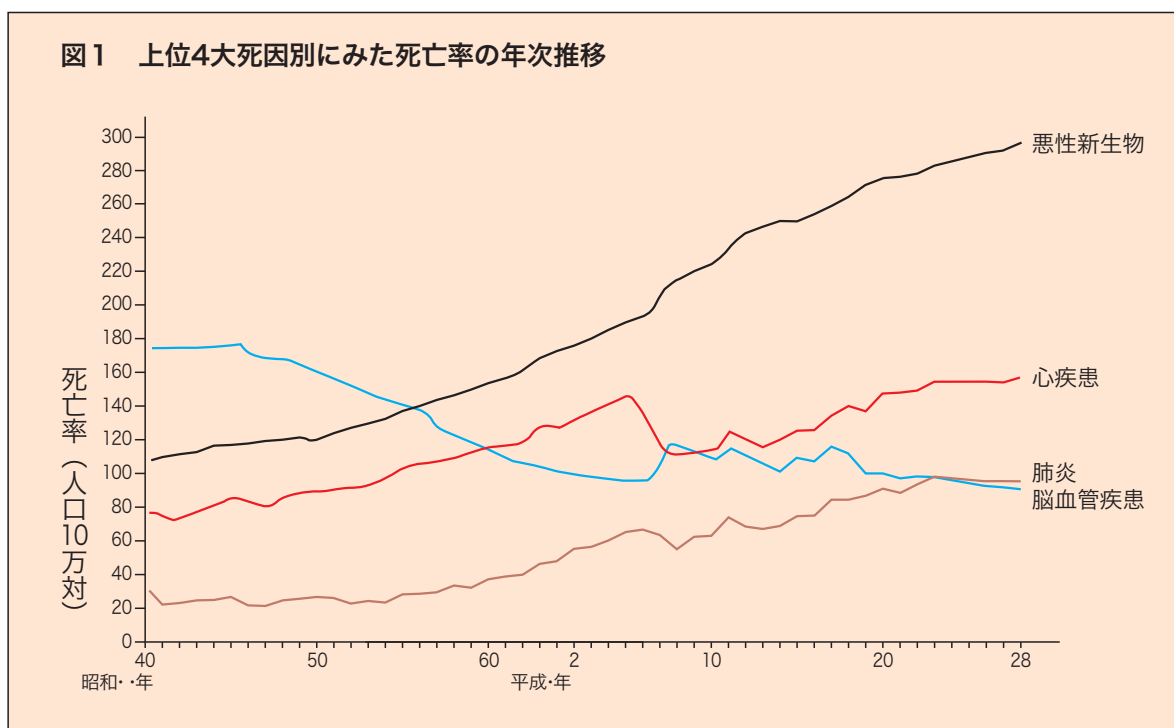
## 循環器病をめぐる統計（死亡率）

厚生労働省が発表した平成28年人口動態統計(\*)によると、上位4大死因別「**悪性新生物**、**心疾患（高血圧を除く）**、**肺炎**、**脳血管疾患**」による死亡者数、死亡率（人口10万対）及び全死亡者に占める割合について、平成27年と対比してみると表1のとおりである。また、上位4大死因別死亡率の年次推移は図1のとおりである。

表1 上位4大死因別による死亡者数、死亡率及び全死亡者に占める割合

	平成28年度			平成27年度		
	死亡者数	人口10万対死亡率	全死亡者に対する割合	死亡者数	人口10万対死亡率	全死亡者に対する割合
悪性新生物	372,986人	298.3	28.5 %	370,346人	295.5	28.7 %
心疾患	198,006	158.4	15.1	196,113	156.5	15.2
肺炎	119,300	95.4	9.1	120,953	96.5	9.4
脳血管疾患	109,320	87.4	8.4	111,973	89.4	8.7
その他	508,136	406.5	38.9	491,059	391.8	38.0
全死因	1,307,748	1046.0	100.0	1,290,444	1029.7	100.0

図1 上位4大死因別にみた死亡率の年次推移



注：

- 平成6・7年の**心疾患の低下**は、死亡診断書（平成7年1月施行）における「死亡の原因欄には、疾患の終末期の状態としての心不全、呼吸不全等は書かないでください」という注意書きの影響によるものと考えられている。
- 平成7年の**脳血管疾患の上昇**の主な要因は、ICD-10（平成7年1月適用）による原死因選択ルールの明確化によるものと考えられている。
- 平成9年までは、**心疾患と脳血管疾患**による合計死亡者数は、悪性新生物による死亡者数を上廻っていたが、平成10年以降では若干下廻る結果となっている。悪性新生物（特に肺がん・結腸・膵）による死亡者数の上昇傾向が大きく影響している。



知っておきたい  
循環器病あれこれ



公益財団法人循環器病研究振興財団へのご寄付

ご寄付いただきました方々に感謝の意を込めて、ご芳名を掲載させていただきます。  
(平成28年11月～平成29年10月)

〔個人〕

青井晶代様 大窪天三幸様 岡田重徳様 岡部経子様 栗田 亨様  
江津国一様 重田美智子様 新保誠敏様 山内 進様

〔法人〕

SBIホールディングス株式会社様 小野薬品工業株式会社様 Cook Japan株式会社様  
興和創薬株式会社様 小西医療器株式会社様 サノフィ株式会社様 CSLベアリング株式会社様  
泉工医科工業株式会社様 センチュリーメディカル株式会社様 大日本住友製薬株式会社様  
大和証券株式会社様 田辺三菱製薬株式会社様 環産業株式会社様 テルモ株式会社様  
日本ゴア株式会社様 日本光電工業株式会社関西支社様 日本ベアリングイングリッド株式会社様  
日本メジフィックス株式会社様 日本メドトロニック株式会社様 日本ライフライン株式会社様  
バイエル薬品株式会社様 平和物産株式会社様 株式会社ホクシンメディカル様  
ミナト医科学株式会社様 宮野医療器株式会社様 読賣テレビ放送株式会社様

※公表についてご承諾頂いた方を掲載させて頂いております（五十音順）。



# かざして募金

「かざして募金」はソフトバンク（株）が提供するスマートフォンから簡単な操作でご寄付いただけるサービスです。

「かざして募金」のアプリをインストール、起動後、本季報の表紙を撮影（画面をタップ）して頂くと寄付画面に移行しますので、ご寄付額を選択してください。  
ご寄付額は、携帯電話の料金と一緒に支払い頂けます。  
また、右記QRコードを読み取って頂くと、アプリのインストールをすることなく寄付画面にお進み頂けます。

※ Softbank スマートフォン以外の方は、クレジット決済になります。  
※ 1,000 円以上のご寄付については、領収書の発行にも対応させていただきます。  
希望される場合は、ご寄付のお申込み後、「団体からの領収書を希望する」ボタンを押し、お手続きください。



SoftBank の  
スマートフォン



SoftBank 以外の  
スマートフォン